

## 経済連携協定活用によるインフラプラント輸出促進戦略に関する調査研究

### (報告書の概要)

我が国のプラント・ビジネスの海外展開において今後重要な役割を果たすことが期待されている「パッケージ型インフラ」、すなわちインフラ建設のためのモノや技術の提供だけでなく事業へ出資参加（投資）した上でそのインフラの維持・運営までを行う事業としてのインフラ（IPPによる発電事業、有料高速道路事業、水道事業等の民活インフラ）に対して、経済連携協定（その投資章）や二国間投資協定その他の国際投資協定がどのように活用できるかという課題を取上げて調査・検討し、プラント業界の立場からいくつかの提言事項もまとめた。

### (報告書の主要構成)

- (1) 世界及び我が国の直接投資の動向
- (2) 投資協定の現状
- (3) 投資協定の意義と内容
- (4) 我が国の投資協定の内容と問題点
- (5) プラント産業における投資協定活用の現状と課題
  - ①インフラプラント輸出促進戦略と投資協定
  - ②我が国投資家による投資協定の活用
  - ③既存の投資協定の見直し
  - ④投資協定対象国の拡大
  - ⑤国の安全保障等の観点からの体内投資規制
  - ⑥我が国の投資協定のあり方
  - ⑦投資協定の普及・啓蒙活動
  - ⑧海外直接投資に関連するその他の協定
    - －租税条約
    - －社会保障協定
  - ⑨対外投資円滑化推進を目的とした日本政府の関係閣僚会議の設置